

安心・防犯 外国人向け動画 県警、4カ国の字幕付き

朝日新聞デジタル版 宮脇稜平

2021年2月22日 11時00分



県警が作った動画を見るベトナム人従業員ら=2021年2月9日午後3時4分、埼玉県川口市青木5丁目、宮脇稜平撮影

埼玉県内に住む外国人が犯罪や事故に巻き込まれるのを防ごうと、県警が字幕付きの動画を作り、公開を始めた。コロナ禍で日本語学校などでの安全講話の機会が減っているため、県警の公式ユーチューブで配信するなどしている。

今月9日、川口市の金属加工会社「かねよし」の作業場で、ベトナム人の従業員6人がスクリーンに注目していた。「日本では落とし物は交番に届けましょう」「違法な在留カードを買わされないように」……。国際捜査課員らが演じる動画を見たグエン・ゴック・ソンさん(27)は「外国人にとって、とてもわかりやすい内容だと思います」と評価した。

動画は五つのテーマに分かれ、落とし物の扱いや交通ルールのほか、出入国に関して意図せず犯罪に巻き込まれないための注意点などを解説。計約17分の長さで、中国語やベトナム語など4カ国の字幕付き。偽物の在留カードの見分け方などを教える事業者向けの動画も作成された。

県内の外国人の数は近年増加し続け、法務省の統計によると昨年6月末の時点で人口の約2.7%にあたる約19万6500人が暮らす。それに伴い、外国人犯罪の検挙数も増えてきた。国際捜査課によると、昨年は1252人(前年比136人増)が検挙され、近年は増加傾向にあるという。

県警は日本語学校や外国人雇用企業で防犯や交通安全の講話を行ってきたが、今年度はコロナ禍で縮小を余儀なくされた。代替案として目を付けたのは動画だった。「外国人にとって何が一番理解しやすいかを考え、視覚で伝わるものを作った」と同課の杉田明也次席は話す。

動画は県警の公式ユーチューブで公開中。

(<https://www.youtube.com/channel/UCkmVVPvKQXMJkiMpBNK01eQ>)

県内39署にもDVDを配布し、今後、様々な機会を活用していくという。(宮脇稜平)